

イージス撤回表明



発行所 秋田魁新報社
〒010-8601
秋田市山王臨海町1番1号
©秋田魁新報社 2020年

号外

購読申し込み

0120-13-1231

電子版

www.sakigake.jp

モバイル

m.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報」朝刊、「秋田魁新報電子版」さきがけMOBILEをご確認ください。

NSC決定、河野氏報告

河野太郎防衛相は25日の自民党国防部会と安全保障調査会の合同会議

で、秋田、山口両県への地上配備型迎撃システム「イージス・アショア」



21日に県庁で佐竹敬久知事らと会談後、頭を下げる河野防衛相（左手前）

配備計画の撤回を24日の国家安全保障会議（NSC）で決めたことを明らかにした。秋田市の陸上自衛隊新屋演習場を配備候補地とする案が2017年11月に浮上してから約2年半で、事実上、計画に終止符が打たれた。河野氏は今月15日、地上イージスの配備計画を停止すると表明。迎撃ミサイル発射後、ブースターを想定した場所に確実に落下させられない技術的問題が判明したと説明し、NSCで協議する意向を示していた。

弾道ミサイル発射拠点を攻撃する敵基地攻撃能力の保有も含めた対応も視野に入れる。安倍晋三首相は、自民党が近く設置するミサイル防衛に関する検討チームの提言を受けた上で、9月にも新たな抑止策の方向性を打ち出し実行に移したい考えだ。河野氏は21日、佐竹敬久知事や穂積志秋田市長らと会談し、「県や市、地元の方さまに長い間にわたり、ご迷惑をお掛けした。このような判断をせざるを得なくなり、深くおわび申し上げます」と謝罪。佐竹知事は「撤回を速やかに決定してほしい」と求めている。